



けいようし 形容詞

ポイント

1. 形容詞には「ーさ」で終わる形と「ーしゃ」で終わる形がある。
2. 「あまさん(甘い)」のように1語でいう形と、「あまさ あん(甘い)」のように2語でいう形がある。
3. 否定を表すときには「なん(ない)」と使う。
4. 動詞「あん」と同じ活用をする。

1. 「さ形容詞」と「しゃ形容詞」

しまむにの形容詞には「へーさ(早い)」など「ーさ(ん)」で終わる形と、「ーみじらしゃ」など「ーしゃ(ん)」で終わる形があります。意味は「ーしゃ(ん)」の形容詞は人の感情や状態を表す語が多く、「ーさ(ん)」で終わる形容詞は、人以外の性質や状態を表す語が多いといった傾向があります。

表1に主な「さ形容詞」「しゃ形容詞」をまとめました。

表1. 主な形容詞

さ形容詞		
あまさ	あまさん	あま 「甘い」
まさ	まさん	「おいしい」
あちさ	あちさん	「暑い」
ひーさ	ひーさん	「寒い」
うひさ	うひさん	「大きい」
いくさ	いくさん	「小さい」
たかさ	たかさん	「高い」
ひゃーさ	ひゃーさん	「低い」
へーさ	へーさん	「早い」
にさ	にさん	おそ 「遅い」
きらさ/ ちゅらさ	きらさん/ ちゅらさん ¹	「きれい」

しゃ形容詞		
みじらしゃ	みじらしゃん	「面白い」
ほーらしゃ	ほーらしゃん	うれ 「嬉しい」
はまらしゃ	はまらしゃん	「うるさい」
わーしゃ	わーしゃん	「おかしい」
むじかしゃ	むじかしゃん	「むずかしい」
はなしゃ	はなしゃん	いと 「かわいい・愛しい」

1 西部方言では「きらさん」、東部方言では「ちゅらさん」と言います。



2. 形容詞の2つの表し方

形容詞は1語で言うことも、「一さ/しゃ」+「あん」の2語にわけることもできます。例えば、「甘い」ことは1語で「あまさん」と言うことも、2語に分けて「あまさ あん」と言うこともできます。

しゃ形容詞も同様で、「面白い」ことは「みじらしゃん」とも「みじらしゃ あん」とも言うことができます。

あま 「甘い」	あまさん ----- 甘い	=	あまさ あん ----- 甘い ある
「面白い」	みじらしゃん ----- 面白い	=	みじらしゃ あん ----- 面白い ある

3. 形容詞の否定形

では、「甘くない」「面白くない」など、形容詞の否定形はどうやって作るのでしょうか？この場合は形容詞を2語で表す後半の部分が「あん(～ある)」から「なん(～ない)」に代わります。

「甘くない」は「あまさ なん」、「面白くない」は「みじらしゃ なん」になるのです。

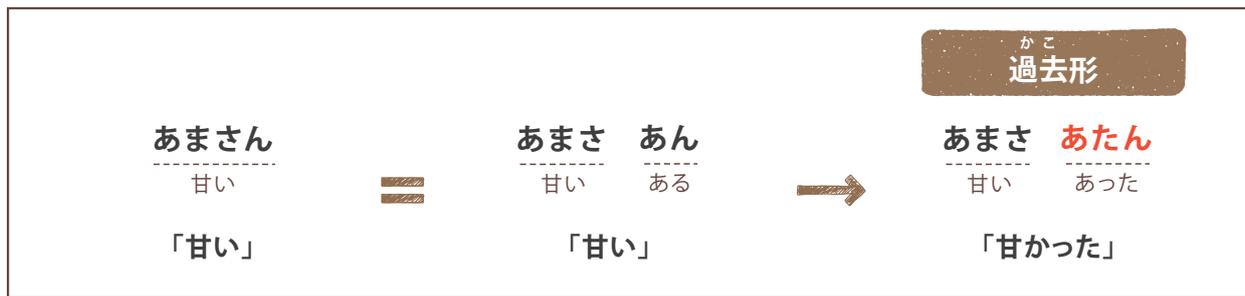
ひてい 否定形

あま 「甘い」	あまさ あん ----- 甘い ある	↔	あまさ なん ----- 甘い ない	あま 「甘くない」
「面白い」	みじらしゃ あん ----- 面白い ある	↔	みじらしゃ なん ----- 面白い ない	「面白くない」

4. 形容詞の活用の仕方

次に、形容詞の過去形についてみましょう。「甘かった」「面白かった」などという時も、形容詞の後半の部分が、動詞の「あん(～ある)」と同じように変化します。

例えば「甘かった」だと、「甘い」を表す「あまさ あん」の後半の「あん(～ある)」が過去形「あたん(あった)」になることで「あまさ あたん(甘かった)」となります。



変化がわかりやすい2語の形を紹介しましたが、過去形も「あまさーたん」のように2語をくっつけて、1語で発音することもできます。

同じように「面白かった」は、「面白い」を表す「みじらしゃ あん」の後半の「あん(～ある)」が過去形「あたん(あった)」になることで「みじらしゃ あたん(面白かった)」となります。



「あん(～ある)」の活用については、3-23「です・だった・じゃない」を復習してみましょう。

5. 会話してみよう



ひゅー=^{*}わ えらぶ=わ あつあん=どー
今日=は 沖永良部島=は 暑い=よ

「今日は沖永良部島は暑いよ」

がんでいろ=なー? とーきょー=わ ひーさん=どーやー
そうです=か 東京=は 寒い=ですよ

「そうですか、東京は涼しいですよ」



ひゅー=わ おーらてい ほーらしゃ あやぶたん=どー
今日=は 会えて 嬉しい でした=よ

「今日は会えて嬉しかったです」

わん=む みじらしゃ あたん=どー みへでいろ=どー
私=も 面白い あった=よ ありがとう=よ

「私も楽しかったよ。ありがとう」



6. 調べてみよう

しまむにで、色(赤い、青いなど)を何と言うか調べてみましょう。形容詞の形はどんな形でしょうか?
けいようし
 また、色は何色あるでしょうか?

※ このテキストでは、他の言葉と区別するために、助詞の前に「=」をつけています
じょし